



Kainan East Rotary

DISTRICT 366

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣ 1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F

会長 吉田隆一 幹事 片山博之 会報委員長 坂上充作

才60回 例会 昭和51年9月27日(月) 於海南商工会議所

1. 開 会 司 会 谷 井 昭 三

2. ロータリーソング 「奉仕の理想」

3. 昼 食

4. 出席率 80% 会員総数25名 出席者数20名
前回修正出席率 84%

5. ゲ ス ト 和歌山県企画部長 梅田善彦様

6. ビジター 石井堅司様 (和歌山R.C.) 南方克彦様 (和歌山南R.C.)
戸塚 毅様 (海南R.G.) 遠藤香苗様 (海南R.C.)
和佐 勝様 (海南R.C.) 中野利生様 (海南R.C.)

7. メイキャップ 柳川君 (9/22海南R.C.にて) 松田君 (9/22東京銀座R.C.にて)
中村隆君 (9/22東京銀座R.C.にて)

8. 会長スピーチ

◎ 商用のため二週に互り例会を欠席致し皆様に御迷惑をおかけして申訳けなく思っている。特に先週は久方振りに前窪直前会長を煩わしましたが有難度うございました。今後も私の職業奉仕に免じてよろしくお願い致します。先日来、会員増強委員会の方からの要望に対し、会員諸君から新会員候補の推薦状をいただきまして有難度うございました。職業分類委員会と会員選考委員会の協力を経て早急に理事会を開き基本的手続を踏み皆様方の御賛同を得たいと思っている。

9. 幹事報告

◎ チャーターナイト案内

生駒R.C. (才365地区) 日時 昭和51年11月13日(土) 場所 生駒市立体育館

◎ R.I. 会長晩餐会案内 日時 昭和51年10月5日(火) 18:00~20:00

場所 ロイヤルホテル2F 光淋の間

出席義務者 会長、幹事、直前会長、国際奉仕委員長

◎ 理事会日取決定の為理事の方は例会終了後残って下さい。

10. ニコニコ箱 吉田君 (株)冬十吉佐商店の高額所得が地方紙に掲載)

“SERVICE” I believe in ROTARY 「奉仕」ロータリーを私は信奉する

11. 委員会報告 中尾職業奉仕委員長

- ◎ 先般の理事会で当 R.C. の社会見学がきまっていたが来10月14日（木）に京都近辺のビールやウイスキーの工場見学に行く事になった。集合場所や集合時間については追って御連絡致しますが全会員の御参加を御願い致したい。

12. 卓 話 “和歌山県企画雑感” 梅田善彦様

- ◎ 全国的見地から和歌山県の現況は一体どう位置付けられているのだろうか皆様の興味の有るところだと思う。大体全国を100とした場合に本県の人口や工業生産額、予算配分等1%が本県の指数である。先進県仲間入構想や追いつけ追い越せムードから本県も発展はしてきているが全国的指数からみれば、むしろ経済地盤が沈下しつつある事が統計上から出ている。因みに全国を100とした本県の純生産額の比率と（県民1人当りの指数）を挙げてみると、昭和35年度0.89（25位）昭和40年度1.02（16位）昭和45年度0.87（20位）昭和49年度0.86（24位）となり本県の人口も亦此れた比れに比例して漸次下降線を辿っている。昭和35年度1.07%昭和40年度1.04%昭和45年度1.00%昭和49年度0.96%である。滋賀県、奈良県は同じ近畿圏の中では財政規模、人口等で比較的対照となり易い県だが人口及び生産額の過去10年間の伸び率を調べてみると人口伸び率奈良県30%滋賀県9.5%本県4.4%であり、生産額では滋賀県5.2倍奈良県4.8倍本県3.8倍となり、近畿圏内でも最低で悲観的な数字であるが学術経験者によると平野部が少なく山岳からすぐ海に連なり内陸部で用地が求め難い本県の立地条件や環境の中で、良くここ迄努力したものだと感じていた。新幹線の開通によって和歌山-東京間に要する時間で広島から東京に行ける状態で将来四国架橋が出来た場合本県は陸の孤島になりはしないか杞憂する人さえある。以前に山本県議がワイズマン構想に就いて質問された事があるが、渥美半島-志摩半島-奈良平野-紀ノ川平野-淡路-四国北部を従断して熊本大分両県のスカイラインに接続する東海南海連絡道構想の事である。

最近大阪国際空港の移転問題がクローズアップされてきたが、本県としては単に伊丹空港の騒音回避のための泉州沖空港開発ならば反対である。だが本県を含めた国土開発の立場を取るのならば賛成したい。若し泉州沖空港が出来た場合に新大阪-加太-淡路四国をトンネル道として大阪湾内新幹線構想が実現出来るならば、将来本県の位置付けも浮上してくるのではないかと夢を持っている。泉州沖空港案も目下調査段階だが出来た場合の漁業や海流の変化の問題と埋立の土を何処からもってくるか、水は何処から引くか等まだまだ多くの問題を抱えている。特にこの空港の出来るか否かは水にかかっていると思う。一つの案として淡輪に毎時10万屯の給水能力を持つ3つの湖を造り紀ノ川河口より引水する方法も出ている。その他に大阪、兵庫と和歌山県知事の間では三県合意の上でない空港は出来ない歯止めになっている。いづれにしても此の空港問題で本県としては何を勝ち取るか県の立場として方向付けないしはリードを取って行かねばならない時期が来ると思う。※和歌山県人として本県の現況、将来に対する勉強をさして頂き有難度うございました。

次回例会案内 昭和51年10月4日（月）18：30～於海南商工会議所
クラブ協議会 青少年奉仕委員会担当

臨時理事会 昭和51年9月30日（木）19：00～於くりす
新入会員選考について